

平和の鐘が鳴る座談会



井上ユリさん（料理研究家）



小野田康成さん
（大船観音寺護持会会長）



仲田晶弘さん（明王院 副住職）



森本裕子さん（ジュエリーデザイナー）

戦後70年目の節目を迎える今年、まるで戦前の状況に似ているといった声を耳にするようになりました。大船観音寺に建つ、原爆被災者の会が主体となって建立した「原爆犠牲者慰霊碑」「平和祈念塔」「原爆の火の塔」の存在はあまり知られていません。過去を振り返り、今と未来を話し合う座談会が鎌倉幕府の鎮護祈願所であった明王院で開かれました。

大船観音寺の

原爆の火

小野田 大船観音寺の護持会会長を引き受けてくれないうか、と依頼があった時にまず母に相談をしました。すると母は「そこには戦没者慰霊碑があるから、引き受けなさい」と言いました。夫、井上ひさしは「平和祖父が硫黄島の玉砕で亡くなったからなのです。これは御縁だな、ということと役をお受けしました。戦没者慰霊碑の隣に福岡県星野村役場から運ばれた被爆45周年「原爆の火」と「平和祈念」の碑が建っています。碑には被爆40周年「核兵器もない、戦争もない、平和な世界を」と当時の神奈川県知事、長洲二二

さんの筆書が刻まれています。井上 高校時代に友達と広島を訪ねたことがあります。その時、被爆者の方にお会いしました。やはりショックでしたし、それから平和に係わるいろんな活動をしてきました。「九条の会」もその一つです。

夫、井上ひさしは「平和祖父が硫黄島の玉砕で亡くなったからなのです。これは御縁だな、ということと役をお受けしました。戦没者慰霊碑の隣に福岡県星野村役場から運ばれた被爆45周年「原爆の火」と「平和祈念」の碑が建っています。碑には被爆40周年「核兵器もない、戦争もない、平和な世界を」と当時の神奈川県知事、長洲二二

夫、井上ひさしは「平和祖父が硫黄島の玉砕で亡くなったからなのです。これは御縁だな、ということと役をお受けしました。戦没者慰霊碑の隣に福岡県星野村役場から運ばれた被爆45周年「原爆の火」と「平和祈念」の碑が建っています。碑には被爆40周年「核兵器もない、戦争もない、平和な世界を」と当時の神奈川県知事、長洲二二

夫、井上ひさしは「平和祖父が硫黄島の玉砕で亡くなったからなのです。これは御縁だな、ということと役をお受けしました。戦没者慰霊碑の隣に福岡県星野村役場から運ばれた被爆45周年「原爆の火」と「平和祈念」の碑が建っています。碑には被爆40周年「核兵器もない、戦争もない、平和な世界を」と当時の神奈川県知事、長洲二二

夫、井上ひさしは「平和祖父が硫黄島の玉砕で亡くなったからなのです。これは御縁だな、ということと役をお受けしました。戦没者慰霊碑の隣に福岡県星野村役場から運ばれた被爆45周年「原爆の火」と「平和祈念」の碑が建っています。碑には被爆40周年「核兵器もない、戦争もない、平和な世界を」と当時の神奈川県知事、長洲二二



明王院の庭を眺めながら

小野田 鎌倉市の人権作文コンクールの作品で「原爆の悲しみの火を消さない事が平和の種になる」と中学生が書いていたのを読みました。過去に起きたことをきちんと伝え残しているのがあの火なのですから、実際に目で見て、昔何があったのかを確認するのは大事です。井上 過去をちゃんと見ないと今どうしたいのかわからないです。鎌倉の子供たちはいつでも「原爆の火」を見る事ができるのですから、いい機会にめぐまれています。戦前も普通の人々は戦争しようとしていたのではなくて、まさか戦争に

なるとは考えていなかったはず。どこで間違えて戦争になったのかわからなかったでしょう。おかしな事になる前に、その都度注意深く見て声を大きくしていかなければ。仲田 子供のころから居間に掲げられている一枚の額に「みんな仲良くしましようね」と書いてありました。子供の頃はそんなのわかってるって思っていたんです。（笑）とてもシンプルですが、それを実行しようとすると、本当に難しい。みんな仲良くするってことは、もし

仲田 森本さんはもととジュエリー作家さんだったのですが、明王院の住職がお願いして独自の御守りを作ることになったのです。非常に細かい仕事で、まるで修行のように彫ってらねました。一〇〇〇粒を一つの輪に留めて今年一月には完結の展覧会を明王院で開きました。森本 有難いご縁で、明王院様の腕輪守りを作らせていただいていた10年になります。小さな粒に文字と顔を彫っ

者を目に映らないと確認できない。森本 最近聞いたことで、神道で五情（省・悔・恥・畏・覺）というものが完結した時に魂が成長するということなんです。五情は自分を見つめる事だから、辛いんだけど、そこを越えて、自分を客観視した時に成長すると話しているんです。仲田 自分を客観視って、ホントに怖いんですけどね。高野山に修行した始めの二ヶ月、知らない環境に放



守り粒

小野田 最初の放送をずっと観ていました。やはりドン・カパチヨですね。（笑）親父は昭和7年生まれなんです。よくお風呂で軍歌を歌ってくれました。親父は子供の時に教わったことが思春期に書き換えられて、苦しんだまま一生終わったように見えました。軍歌を歌いながら平和を求めるようなことをしています。

井上 「ひょっこりひょうたん島」でも、その他の作品でも、みんなデコボコしながら大人も子供も一緒にあって、より良い共同を考えていたのじゃないか。また笑いたい、という笑いもあると思います。時間も何もかも忘れてしまうような。森本 悩みも何もなくて、喜んで笑って空っぽになると聞かれます。芸術や文化はそういう瞬間を提供するものですね。井上 そうなんです。その瞬間が永遠になるんですよ。



大船観音寺 原爆の火の塔

自宅に持ち帰りました。広島原爆の残り火としては唯一のものとして「平和の灯火」として星野村役場で今も絶やすことなく燃え続けています。神奈川県原爆被災者の会の願いにより被爆45周年（平成27年）の記念に星野村役場から分火され境内に「原爆の火の塔」として

建立されました。（神奈川と積み重ねられ、県原爆被災者の会「かなたその地点に」がわ原爆慰霊碑由来）

建立されました。鐘には平和の象徴として、全面に国境のない世界地図が刻まれています。境がある限り、平和はありません。さらにこの鐘には、「自己を知れ」の一文がその悲願を結晶しています。自己を知ることが、平和を実現する唯一の道である。（より）

西哲ソクラテスを生み出した、このデルフォイの神勅がギリシャ語（駐日ギリシャ大使アレクセス・レアティス筆）と日本語（日本教育会長・初代広島大学長・森戸辰男筆）で記されています。（原爆被災者広島悲願結晶の会 平和の鐘より）



座談会を終えて 過ちは二度と繰り返してはなりません。警鐘を聞き、問題を解決したとき平和の鐘は初めてその音を世界に響かせます。不可解な現象が起きるとき、現象そのものが問題？現象を起こしているものは何者かが問題？問いは続きます。平和の鐘には「自己を知れ」と深く刻まれています。なぜ自己を知れなのか。その問いをテーマに話し合いの場所を変え、話者をお迎えしていきます。この記事に関する読者の皆様のご感想を編集室までお寄せください。

座談会を終えて 過ちは二度と繰り返してはなりません。警鐘を聞き、問題を解決したとき平和の鐘は初めてその音を世界に響かせます。不可解な現象が起きるとき、現象そのものが問題？現象を起こしているものは何者かが問題？問いは続きます。平和の鐘には「自己を知れ」と深く刻まれています。なぜ自己を知れなのか。その問いをテーマに話し合いの場所を変え、話者をお迎えしていきます。この記事に関する読者の皆様のご感想を編集室までお寄せください。